

No. 2849

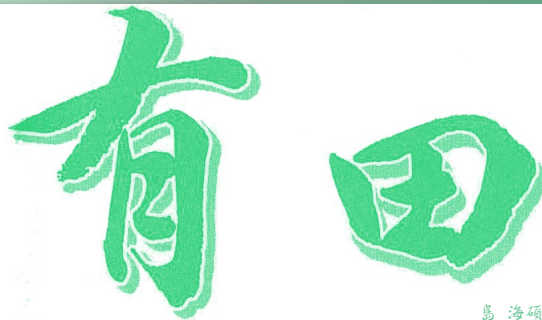
2017-2018年度

会 長 成川 守彦

幹 事 橋本 拓也

R広報委員長 應地 正章

担当：松村委員



島海碩書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 事務所 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020
 創 立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

ロータリー
変化をもたらす

本日のプログラム

平成29年11月9日 第2850回

- ・ 会員卓話：酒井隆正君「ロータリー財団について」
中元耕一郎君「ミャンマー国際奉仕事業について」
- ・ ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第2849回例会）

開催日 平成29年10月26日(木)

点 鐘 (成川(守)会長)

ゲストの紹介

(上野山(捷)親睦活動委員長)

ゲスト：御前 明良 様(有田市文化財保護審議委員・紀州有田商工会議所 元専務理事)

ニコニコ箱の報告

(中元SAA)

成川(守)君：御前様、本日の卓話よろしくお願い致します。和歌山特報に「月見例会」の記事が載りました。ありがとうございます。

橋本君：御前様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願い致します。

田端君：御前様、本日は卓話有難うございます。よろしくお願い致します。

橋爪(誠)君：御前明良様、本日、多忙の中お越し頂きありがとうございます。卓話、勉強させていただきます。

石垣(泰)君：御前様、本日の卓話、楽しみにしております。

嶋田(ひ)君：御前明良様、本日の卓話楽しみにしております。宜しくお願いします。

上野山(捷)君：御前明良様、本日の卓話、ありがとうございます。

井上君：御前様、大変ごぶさたしております。本日はようこそ卓話にお越し頂きありがとうございます。

嶋田(崇)君：御前明良様、いつもお世話になり有難うございます。今日の卓話、宜しくお願いします。

脇村君：御前さん、お元気のご様子なによりです。本日の卓話よろしくお願い致します。

岩橋君：御前明良さん、卓話楽しみにしています。

2017-2018年度クラブ方針

ロータリーを知らう

～温故知新～

次回のお知らせ

平成29年11月16日 第2851回

- ・ 会員卓話：児島良宗君
「私の考えるロータリー『平和』」
- ・ ソング：「それでこそロータリー」



上野山(英)君：御前明良さん、本日、卓話拝聴します。酒井君：御前様、本日はようこそ有田ロータリークラブへ。

卓話よろしくお願い致します。

松村君：御前明良様、いつも興味深いお話ありがとうございます。今日も楽しみにしています。

橋爪(正)君：御前明良様、本日の卓話、蚊取り線香発祥の地、有田市として大変興味を持っています。よろしくお願い致します。

上野山(栄)君：御前様、ようこそ有田RCへお越しくださいました。卓話で勉強させていただきます。

中村君：御前様、本日の卓話、楽しみです。よろしくお願い致します。

丸山君：御前様、卓話楽しみにしています。会議所の百瀬さんには色々お世話になりました。百瀬さんとお話した時によく御前専務の名前が出てきました。よろしくお願い致します。

石垣(洋)君：御前様、お忙しいところ、卓話にお越しいただきありがとうございます。楽しみにしています。

宮井君：御前明良様、本日の卓話ご苦労さんです。勉強させていただきます。

菅原君：御前様、卓話ありがとうございます御座居ます。

中元君：御前明良様、本日の卓話よろしくお願い致します。

出席報告

(橋爪(正)例会運営委員)

本日の会員数32名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数28名

(出席規定免除会員9名)

87. 50%

10/5 96. 55%

MU：上野山(栄)君、石垣(泰)君、成戸君、岩本君

会長の時間 (成川(守)会長)

「経済と地域社会の発展月間」「地区大会」

まず、先週結婚記念日お祝いに欠席されていた石垣洋介君に、お祝いのプリザーブドフラワーをお渡しします。おめでとうございます。



＜結婚記念日に一言＞
結婚55年目になります。夫婦共元気です。今までお世話になった皆様に感謝し、残りの人生を報恩の気持ちで頑張ります。ありがとうございました。
石垣洋介

●経済と地域社会の発展月間

10月は「経済と地域社会の発展月間」(2014年10月RI理事会)です。

貧困地域の経済発展を目的とした、起業家、地域社会のリーダー、地元団体を含む地域ネットワークの向上、雇用創出、支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減、経済と地域社会の発展に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間であります。ロータリーは、地域社会とそこに住む人びとが経済的、社会的に自立できる道をひらいています。

そういうことで、今日は、「元紀州有田商工会議所専務理事の御前様」にお越しいただき、「上山英一郎氏の先見性と功績—除虫菊栽培の創始と蚊取り線香の発明—」というテーマで卓話をしていただきます。上山氏のご功績で、地域社会とそこに住む人びとが経済的、社会的に自立し、地域は大きく発展しました。御前様は私と同級生ですが、学校は一緒に行っていません。私が開業してからのお付き合いですが、病院経営に貴重な助言をいただいています。本日、よろしくお願いします。

ロータリーに関して言えば、

- ・地元経済の発展と貧困の軽減のためにこれまでにロータリー財団が授与した補助金:\$2900万(日本円:31億9000万円)
- ・十分な食べ物がいない人:7.95億人(世界で9人に1人)
- ・飢えに苦しむ人のうち、女性と少女が占める割合:60%
- ・極度の貧困者のうち、僻地に住み、生活の糧を農業に依存している人:70%

Adopt a village(農村支援プロジェクト):極度に貧しい地域社会の貧困の輪を断ち切るために、ロータリー会員は包括的な支援を行っています。

農業の促進:農村部の人たちは、家畜の購入、作物の植えつけ、持続可能な農業方法の研修のために融資を利用し、自立への道につなげています。

小口融資(マイクロローン):露天商、三輪タクシー、織物職人、仕立人など、小さな商売の立ち上げを目指す人たちが、ロータリーの支援で小口融資を利用しています。

地元経済促進における成果

ロータリーのプロジェクトを通じて指導や研修を受けた人びとは、地域社会での貴重な人材となって住民への指導、新ビジネス立ち上げの支援、経営方法の指導などを行っています。

＜ロータリーによる活動の例:＞

貧困の連鎖を断ち切るための女性への支援

グアテマラ僻地に住む女性の多くは、銀行から融資を得るための担保がありません。グアテマラのロータリークラブは、女性たちが共同出資して小口融資プログラムを開始できるよう、地元400人の女性たちを対象に金融リテラシーの研修を実施しました。

スキル開発と経営の研修

エクアドルでは、250口以上のマイクロローンを融資しつつ、地元住民270人を対象に裁縫、パン焼き、配管、マイクロクレジット、経営管理、リーダーシップに関する研修を実施しました。

持続可能な農業

西カメルーンでは、土壌浸食と土壌劣化のために収穫が大きく減少していました。このような状況を受け、ロータリー会員は土壌を肥沃にし、土壌浸食を食い止め、農作物を市場に出荷するのに必要なスキルを農家に指導。その結果、収穫量が増し、農業収入が増えました。

有田RCが今年度実施する国際奉仕委員会の「ミャンマー地区補助金事業」も、これに該当すると考えられます。

ところで、来週、11月4日5日は地区大会(District Conference)です。地区大会プログラムの立案に当たって、ガバナーは、昼食、親睦、次期会長幹事との会合を除いて、正味9時間を本会議とグループ討論に充てるよう要請されています。(ロータリー章典22.020.5)

＜目的＞

地区大会の目的は地区内のすべてのロータリアンが下記の目的のために集うことである。

- 1.地区の奉仕プログラムやプロジェクトを紹介する
- 2.ロータリアンの奉仕活動へのさらなる参加意欲を高める
- 3.クラブレベルを超えたロータリーのビジョンを分かち合う
- 4.忘れられない親睦体験を味わう
- 5.ロータリー指導者との交流の機会を提供する(ロータリー章典22.01.1)

＜時と場所＞

ガバナーと地区内クラブ過半数の会長の合意によって(前年の地区大会で)定められる時および場所において、毎年開催するものとする。地区大会の開催日程は、地区研修・協議会、国際協議会、または国際大会の日程と重ならないようにするものとする。

＜開催期間＞

- a)地区大会の開催期間は少なくとも2日間以上、最高3日間が推奨されている。ガバナーは、ロータリーに関連した主題を主な内容として地区大会のプログラムを作成するよう求められている。プログラムにロータリアンではない講演者を招く場合、その講演内容はロータリーの

綱領に直接関連しているべきである(2002年2月理事会会合、決定164号)。

<参加者>

地区大会は、地区の全ロータリアンの関心に訴えるよう計画されるべきである。特に新しいロータリークラブ会員の出席が奨励されている。配偶者、家族、ローターアクター、インターアクター、青少年交換学生、ロータリー財団学友、米山奨学生、その他ロータリープログラムのボランティアに地区大会活動への参加を呼びかけるよう、理事会がガバナーに奨励している(2003年2月理事会会合、決定275号)

<地区大会プログラム>

地区大会プログラムの計画および立案はガバナーの責務であり、ガバナー自らが、地区大会の主宰も含め、プログラムの一切の管理権を握るべきである。地区大会には、RI会長の代理としてロータリーの指導者が来られます。会長代理のメッセージは最も重要である。(2003年2月理事会会合、決定275号)。

<地区大会の要件>

地区大会では次のことが行わなければならない。(抜粋)

- a) RI会長代理に、少なくとも2回は大会で講演する機会を用意する。そのうち1回は、配偶者を含む最多数の出席者がいる大会セッションで20～25分間主要な講演をするためのものとし、またこの主要な2回の講演の他に、会長代理には大会の終わりにホスト地区に感謝の意を表する挨拶を述べる機会が与えられるべきである。
- b) RI細則15.060.4.項(地区の年次財務表および報告書)に規定されている通り地区の会合で既に採択されていない場合は、前ロータリー年度の年次地区財務表および財務報告書について討議し、採択する。
- d) 適切であれば、RI理事の指名委員会委員を選任する。
- e) 地区が指名委員会の手続きを行わないと選択した場合、規定審議会の2年前のロータリー年度の地区大会で、地区の規定審議会代表議員を選出する(2007年6月理事会会合、決定226号)。

<推奨事項>

地区大会は以下の通りとすべきである。(抜粋)

- d) 地区の決議事項を審議する。
- k) 「友愛の広場」などでクラブや地区のプロジェクト展示を行うよう推進する。
- n) クラブ会長、あるいはクラブで指導的な役割を3年以上務めた関心のあるロータリアンのために、地区大会の直前または直後に丸1日の地区指導者育成セミナーを組み入れる(2003年2月理事会会合、決定275号)。

ところで、本日例会終了後、臨時理事会を開催します。議題は; ①「クラブと地区に関する2017年決議案」、②「2016-2017年度国際ロータリー第2640地区会計報告」です。

①規定審議会は3年毎に開催されますが、2016年の規



定審議会において「決議審議会は毎年オンラインで開催され、各地区から代表議員が出席し、クラブ・地区・RI理事会・RIBI審議会または大会から提出された決議案について毎年秋に代表議員が投票を行う」ことが決定されました。それに伴い、ガバナー事務所から「クラブと地区に関する2017年決議案」が送られてきていますので、内容を検討し、11月2日(金)の正午までに ガバナー事務所宛にご返信します。

②「2016-2017年度国際ロータリー第2640地区会計報告」については、幹事報告でこれまで簡単に報告がありましたが、ワールド大阪ロータリーEクラブから、「2016～2017年度決算書の不可解な疑問点指摘」というメールが送られてきています。今回の選挙人会議の審議事項「2016-2017年度地区財務報告採択の件」になっていますので、理事・役員の皆様のご意見をお聞きしたいと思います。関心のある方は遠慮なく理事会に参加してください。協議時間は1時間半ぐらいかかるとは思います、よろしくお願いします。

最後に、次週11月2日は休会です。9日の卓話は、「R財団について」(酒井R財団委員長)、その後、中元国際奉仕委員から、「ミャンマー地区補助金事業・国際奉仕委員会」について説明があります。10月の理事会で、「この日のニコニコ箱は全てミャンマー地区補助金事業に支援したい」という提案が承認されましたので、ご協力をよろしくお願いします。

幹事報告 (橋本幹事)

1. ガバナーエレクトより、次年度クラブ会長・幹事住所録資料、及びクラブ行事届出のお願いが届いています。上野山(栄)会長エレクトに渡しました。
2. 地区より、2017年決議審議会 決議案について、各クラブの意向確認が届いています。11/2正午が締切なので、本日例会終了後、臨時理事会を開催し審議します。
3. 地区より、先週の幹事報告した「地区大会に関する連絡と確認のお願い」の修正版が届いています。一部の方が抜けていたようです。
4. ガバナー事務所より、福井直前ガバナーの依頼による文書が届いています。10/13の回答を補足する内容です。
5. ワールド大阪ロータリーEクラブから、福井直前ガバナー宛のメールが全クラブに配信されてきました。内容は「2016-17年度決算書の疑問は深まるばかりだ」というものです。
6. 地区より、10/29開催予定のインターアクトリーダーシップフォーラムは、台風接近のため中止との連絡が入っています。
7. 他クラブより、例会変更のお知らせが届いています。
8. 来週11/4、5は地区大会です。11/4は、会長・幹事・上野山(英)地区幹事が出席します。11/5は19名の参加です。各自午前9時30分までに現地集合(ダイワロイネットホテル)でお願いします。

委員会報告

*SAA(中元SAA)

クールビズ終了のお知らせ。11/9(木)の例会よりスーツ、ネクタイ着用をお願いします。

*米山記念奨学会委員会(松村委員長)

上野山(捷)君、成川(守)君から特別寄付をいただきました。

*広報委員会(松村委員)

ガバナー月信をお配りしました。4ページに董涛君の「8月31日有田地方活性化奉仕活動報告」が載っています。

卓 話

「上山英一郎氏の先見性と功績

—除虫菊栽培の創始と蚊取り線香の発明—



有田市文化財保護審議委員
紀州有田商工会議所
元専務理事

御前 明良 様

100年を生きる世界的大発明“蚊取り線香” 上山英一郎の先見性と「鶏口牛後の事業魂」

100年以上国民に親しまれている商品は全国的にもそう多くはない。しかし有田市には世界に誇れる産業がある。それは「有田みかん」と「蚊取り線香」だ。

高温多湿の日本は大昔から夏には「蚊」に悩まされてきた。平安時代の才媛清少納言の「枕草子」には『ねぶたしと思ひて臥したるに、蚊の細声にわびしげに名のりて顔のほどに飛びありく、羽風さえその身ののほどにあるこそ、いと憎くけれ』と現代人の私たちと同じ思いを伝えている。

「蚊」は発見された化石からは1億7千万年から生存しており、世界には約3000種あり、その内日本には100種という。蚊の媒介によるマラリアでの死者は年間約59万人(2014年WHO)、最近ではデング熱、ジカ熱の媒介者としても世界を煩わせている。

そこで生活の知恵から生まれたのが「蚊遣り」「蚊帳」であるが、面倒な手間を省いてくれたのが、明治23年(1890)上山英一郎によって発明された「長棒型蚊取り線香」である。その後改良されて、明治35年(1902)には現在の「渦巻型線香」となった。

発明者の上山英一郎には非凡な先見性と事業意欲があった。文久2年(1862)に有田郡保田村(現有田市)山田原で生まれるが上山家は代々蜜柑農家であった。江戸初期の寛永11年(1634)に滝川原村の藤兵衛による江戸送りで有田蜜柑は評判が高まっていた。さらに名声を高

めたのが50年後の貞享2年(1685)、紀伊国屋文左衛門の命をかけた江戸送りである。上山家のみかんは東京でも評判がよく、英一郎も家業を継ぐよう勧められていた。

しかし、英一郎は東京に出て英語を勉強し、みかんを輸出したいという強い思いをもっていた。それは東京の蜜柑問屋から手に入れた福沢諭吉の「学問のすすめ」「西洋事情」の感化であった。

英一郎は決意し、明治15年、20歳の時に上京する。この時の交通事情から考えると、参勤交代で使われた和歌山⇒五条⇒松阪から船⇒尾張⇒東海道⇒東京のルートと思われる。山田原～東京まで630km、一日40キロ歩くとしても半月はかかる大変な旅である。

上京した英一郎は築地の「欧文正鶴学館」で英語を学ぶ。しかし、思いは福沢諭吉先生から学ぶことであった。やがて念願かなって諭吉の慶応義塾の門下生となり欧米の文化、生活、産業、経済について勉強する。2年ほどの在京生活の中で重い脚気となり失意のまま明治17年に療養のため帰郷する。その翌年明治18年(1885)に恩師福沢諭吉の紹介でアメリカの植物輸入会社経営のアモア氏が上山家を訪問。歓待し、みかん、竹、菊の苗木等を土産に提供。翌年アモア氏から返礼として蚤取粉の原料になるからと「除虫菊」の種子が送られてくる。ヒントを得た英一郎は苦心して発芽に成功、21年には蚤取粉を試作、23年(1890)に世界で初の蚊取線香を開発して評判となり、有田市の基幹産業のみならず日本の主要貿易品となり、世界80ヶ国以上に輸出される商品となった。伴って同社の発展は周知の如しである。

除虫菊の栽培創始と蚊取線香の発明 上山英一郎の先見性



左写真 全国の主要道路の舗装等に掲示されていた
上写真 外国への宣伝ポスター

平成29年10月26日
有田市文化財保護審議委員
御前 明良

上山英一郎の足跡その①

- ・文久2年(1862)～昭和18年9月(1943)82歳で没、蜜柑農家で生
- ・明治15年(1882)大志を抱いて上京、築地の「欧文正鶴学館」でサマーズ氏から英語学ぶ。20歳
- ・福沢諭吉の慶応義塾に入塾。諭吉から西洋文明等学ぶ
- ・明治17年(1884)重い脚気を患い帰郷
- ・明治18年(1885)自宅にて上山商店設立、みかん輸出を始める
- ・明治18年、3月諭吉の紹介があり、東京へアモア氏を迎えに行き、自宅へ招聘・歓待
- ・明治19年1月(1886)アモア氏からビューハク(除虫菊)の種子
- ・みかん畑に播種・発芽に成功
- ・明治20年5月(1887)除虫菊第一回収穫。除虫菊粉、蚤取粉試作
- ・明治21年(1886)アモア氏2回目
- ・岡山県渡辺氏、広島尾道条田氏に除虫菊種子呈呈、これが両県の除虫菊栽培の始まり
- ・明治23年(1890)アモア氏3回目

☆棒状蚊取線香発明(世界初)

上山英一郎の足跡その②

- 明治23年(1890)「除虫菊栽培書」発刊、全国へ栽培普及強化
- 明治25年(1893)和歌山県日高郡で除虫菊栽培始まる
- 明治29年(1896)北海道石狩の金子氏来訪、北海道で栽培が定着。昭和4年日本一の生産地
- 明治31年(1898)米国に除虫菊粉初輸出
- ★ 明治35年(1902)世界初渦巻型蚊取線香特許並びに発売
- △ 明治37年(1904)2月8日～明治38年(1905)9月5日・日露戦争
- 明治39年(1906)露国ウラジオストックに支店開設
- 明治43年(1901)「金鳥」商標登録・紀州工場に電動製粉工場
- 大正8年(1915)北海道旭川支店・大日本除虫菊(株)設立
- 大正11年(1922)米ニューヨークに支店開設
- 昭和4年(1929)尾道千光寺境内に「除虫菊発祥の碑」建設
- 昭和5年(1930)尾道市向島、亀森八幡神社境内に「除虫菊神社」が建立。祭神は上山英一郎
- 社名を大日本除虫菊(株)に変更
- 昭和17年(1942)須佐神社外苑に上山英一郎の銅像が保田村によって建立
- ★ 昭和18年(1943)英一郎逝去(82歳)

有田南ロータリークラブ11月のプログラム

11/7(火)	ゲスト卓話：福原順子氏 有田振興局 健康福祉部衛生環境課
11/14(火)	ゲスト卓話：中野均（堺東RC） （地区財団委員長）
11/21(火)	会員卓話：児島誠一君 杣野としゑ君
11/28(火)	ゲスト卓話：湯浅警察署長 亀井署長

国立科学博物館・『未来技術遺産』に登録

上山英一郎は除虫菊の栽培を広く普及、世界初の蚊取線香を発明。世界中に輸出され、蚊が媒介する疾病の予防に大きく貢献。人々の健康を増進した。2013年(平成25)登録第135号



● 棒状蚊取線香「金鳥香」
世界初の蚊取線香。
長さ20cmで約40分燃焼、
数本を同時に用いた。



● 渦巻型蚊取線香「金鳥の渦巻」
世界初の渦巻型蚊取線香。長時間燃焼、
さらにダブルコイル方式による搬送時の
折れや輸送コストの低減が実現された。

2017-2018年度国際ロータリー第2640地区 地区大会 平成29年11月5日（日）



閉会・点鐘 (成川(守)会長)

